

## 1、施設管理に関する基本方針

### (1) 施設の管理運営について

この施設は地域の子ども達にとって貴重な遊びや交流の場であり、地域の実情を十分把握した組織が管理運営に携わることが、よりベターであると考えます。

当運営委員会は、ログハウス設立当初から管理運営に関わってきた経緯があり、緑区区民利用施設協会が発足してからも、運営に関する意見具申をするなど側面から協力してきました。

このノウハウを活かして、利用者の立場に立った管理運営を行っていきます。

また、霧が丘地区は、少子化の影響から3つの小学校が1校に統合され、益々子どもたちの活動する場が少なくなります。地域にとって、子ども達の放課後の遊び場、交流の場としてのこの施設の役割は大きなものがあります。青少年活動団体等の地域関係者と連携を密にして、子ども達に喜ばれる施設運営を行っていきます。

## 1、施設管理に関する基本方針

### (2) 施設の管理運営に対する利用者ニーズの把握と運営への反映について

#### ① 利用者ニーズの把握方法について

#### ② ①で把握したニーズの運営への反映の仕方について

##### ①利用者のニーズの把握方法について

霧が丘連合自治会の会合等を利用して、地域住民の施設運営に関する意見要望等を把握していきます。子供たちのニーズは、遊んでいる場面で出てくることが多いと思われます。スタッフが子供たちの遊んでいる状況を把握し、必要に応じ声を掛け合ってニーズ把握に努めます。

また、利用者ご意見箱を館内に設置して、利用者の声を収集します。

##### ②把握したニーズの運営への反映の仕方について

ソフト面は、役員やスタッフで話し合っ改善していきます。

ハード面で予算の伴うことは、役員会で検討して、優先順位をつけ解決していきます。また、地域協力が必要な事柄は地域連合自治会の協力をお願いしてまいります。

## 1、施設管理に関する基本方針

### (3) 利用者の安全対策について

- ①安全にサービスを提供するための対策について
- ②事故が発生した場合の具体的な対応について

#### ①安全にサービスを提供するための対策について

利用者の安全を守ることは、施設の管理運営する上で最も重要なことであり、先の研修でも述べたとおり、対応マニュアルを定め、スタッフへの研修を行います。

また、子供は大人が予想しない行動を取ることが多く、怪我等の事故に最前の注意を払う必要があります。スタッフは常に子供たちの行動に目を向け、事故防止に努めて参ります。また、危険箇所がないか、常に施設点検を行っていきます。安全面に関する利用者からの要望は、最優先で改善します。

#### ②事故等発生時の緊急連絡簿を常備し、スタッフには、日常から緊急時の迅速な対応や応急処置ををスタッフに習得させてまいります。

スタッフには、

- 1、人身事故が起きた時、救急車の要請、家庭への連絡、会長等役員への報告を迅速に行う。
- 2、危険箇所は会長へ連絡し、指定業者に修理を依頼する。
- 3、警察、消防、区役所等へ緊急連絡は最優先する。等を徹底します。

## 1、施設管理に関する基本方針

### (4) 施設の経営に関する考え方について

- ①効率的な管理運営のための具体的な計画について
- ②経費節減のための工夫について

#### ①効率的な管理運営のための具体的な計画について

- 1、施設の性格から、冷房は扇風機、暖房は一部床暖房のみで、光熱費の削減を図っていきます。
- 2、設備点検は日常業務の中でスタッフが行っていきます。
- 3、スタッフにある程度の収入を保障し勤労意欲をもたせるため、はまっ子指導員との兼務を取り入れます。
- 4、利用率の低い時間帯を調査し、開館時間の見直しをします。

#### ②経費節減のための工夫

- 1、日常清掃はスタッフがを行い業者発注はしない。(年2回業者清掃)
- 2、機械警備による経費削減(周辺の見回り点検はスタッフが行う)
- 3、クールビズ、ウォームビズを積極的に取り入れる。
- 4、行事ポスター等の広報物はスタッフが作成する。

## 1、施設管理に関する基本方針

### (5) 施設運営に関する職員体制及び職員育成の考え方について

- ①職員の配置及び採用について
- ②職員の研修計画について
- ③個人情報の保護に関する措置について

#### ①職員の配置及び採用について

子供たちの安全を守るため、職員は常時2名が勤務する体制とします。庶務・窓口担当1人と窓口担当7人（1日4時間勤務）がローテーションを組んで勤務します。スタッフは地域住民から採用するが、円滑な管理運営を進める為、現スタッフの継続雇用や学校施設を利用して子ども達の遊びを通じた交流を手助けしているはまっ子ふれあいスクールスタッフから意欲ある人の雇用しました。

#### ②職員の研修計画について

職員は、日々、就学前幼児から中学生まで様々な成長過程にある子供たちを相手にし、言動も多種多様で、行動も何をやるか想定できないという状況下に置かれると思われれます。そこで、職員一人ひとりが様々な状況に的確に対応し、柔軟な子供との触れ合いができるように、全スタッフを対象にした研修を年2回実施してまいります。また、全スタッフが一同に会する機会が少ないので、毎月1回の定例ミーティングで、業務課題や接遇等の話し合いを行なっていきます。

特に、新スタッフ採用時には、

- 1、館運営マニュアルを基にした基礎研修
- 2、子供の人権、子供の安全を守るための知識習得
- 3、個人情報管理、接遇等の研修
- 4、事故発生時の応急処置、緊急連絡訓練を中心とした研修を行います。

#### ③個人情報の保護について

個人情報については、横浜市個人情報保護条例を基本にして、取扱いをスタッフに徹底してまいります。特に、毎日の入館者名簿はシュレッダーにかけて廃棄処分することを徹底します。

また、情報の流出を防止するため、個人情報の持ち出し厳禁、パソコン等の盗難防止策などを徹底してまいります。

## 1、施設管理に関する基本方針

### (6) 緊急時対応（危機管理のあり方）について

- ①防犯、防災の対応について
- ②その他、緊急時の対応について

#### ①防犯、防災の対応について

- 1、緊急時の連絡体制を確立し、迅速な初動体制が取れるようにします。
- 2、日常に防犯、防災については警備会社と契約します。
- 3、スタッフによる施設内巡回を徹底し防犯防止に努めます。
- 4、地域自治会の防災訓練に参加し、災害時の迅速な対応を学びます。
- 5、緑消防署の協力を仰ぎ、全スタッフの防災訓練を実施します。

#### ②その他、緊急時の対応について

施設内で事故等が発生した場合は、直ちに運営委員会役員に連絡し指示を仰ぎ、併せて関係機関に連絡するとともに緑区役所所管課に報告します。

また、緊急時の連絡体制を施設内に掲示して、誰でも迅速な対応ができるようにしておきます。

## 2 自主事業に関すること

### 自主事業計画に関する基本方針

※ 具体的な計画については、別紙様式 2・3 に記載

#### (1) 自主事業計画に関する基本方針

- ①時代にマッチした、子ども達に喜ばれるバラエティに富んだ自主事業を計画します。
- ②対象者が子どもなので、参加者に負担のかからない事業を行います。
- ③地域ボランティアの人材を有効活用し、経費の削減を図ります。
- ④学校や PTA、はまっ子関係者等との連携を密にして事業展開を図ります。
- ⑤地元連合自治会の協力を得て地域住民への広報を進めます。





## 霧が丘公園こどもログハウス自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子供の日	館内に鯉のぼりを飾り、期間中に来館された子供たちに紙鯉のぼりを作ってもらおう。	4月下旬～ 5月5日まで
七夕まつり	館内に笹の七夕飾りをたて、願い事を書いた短冊を子供たちに飾ってもらおう。	7月1日～ 7月7日まで

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏まつり	夏休みの楽しい一日、子供たちのために「夏まつり」を実施する。魚釣り、輪投げ等のゲームを館内で行う。	8月下旬 1回
クリスマス会	館内で歌やゲームによるクリスマス会を開催する。ボランティア学生の音楽など取り入れる。	12月中旬 午前、午後2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
節分 豆まき	ログハウスの縁側から外に向けて袋に入った豆まきを行う。スタッフが鬼になって子供達と遊ぶ。	2月3日 1回
ひなまつり	子供達に折り紙でお雛様を作ってもらい、館内に飾る。	2月下旬～ 3月3日

## 平成18年度施設管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
<b>収入合計(A)</b>		①+②=A	
<b>項目</b>	①管理経費	霧が丘公園こどもログハウス指定管理料	6,497
<b>支出合計(B)</b>			6,497
<b>項 目</b>	人件費	事務職給料・スタッフ謝金・事業主負担金	5,715
	事務費	消耗品	120
	事業費	自主事業費として鯉のぼり・七夕・夏祭り・クリスマス・豆まき・ひな祭り	60
	管理費	警備保障・清掃	416
	事務経費	備品購入・電話代・スタッフ健康診断費補助 ゴミルート回収費用・修繕・予備他	186
<b>収支(A)-(B)</b>			0

※ 1年間(12ヶ月)の収支を記入してください。

※ 各項目については、必要に応じて別紙にて説明資料を添付してください。